

## 令和2年度(2020年)公益財団法人 音楽文化創造 事業計画

### 【目的】

当財団は、平成6年に制定された「音楽文化の振興のための学習環境の整備に関する法律」(略称:音楽振興法)の趣旨に基づき、音楽に関する文化活動を幅広く振興すると共に、生涯学習の一環としての音楽学習の活性化を図り、わが国の音楽文化の発展と音楽を通じた国際音楽の促進に寄与することを目的としている。令和2年度はこの目的に沿って事業を展開する。

### 【公益目的事業】

#### 1. 音楽に関する国内外の協議会、講演会等の開催及びその開催のための協力

音楽振興法の精神に基づき、全国各地の音楽文化振興と生涯学習を普及推進していくことを目的に全国生涯学習音楽指導員協議会主催「FORUM in 国際音楽の日 2020 東京」の開催のために協力、協賛する。

- <サブタイトル> ～伝える・拡がる・繋がる～
- <実施日程> 2020年10月24日(土)～25日(日)
- <会場> 桐朋学園大学 調布キャンパス
- <主催> 全国生涯学習音楽指導員協議会
- <主管> FORUM in 国際音楽の日 2020 東京 実行委員会
- <協賛> 公益財団法人 音楽文化創造
- <参加者> 生涯学習音楽指導員、地域音楽コーディネーター、教育関係者、音楽関係者  
自治体関係者 他
- <参加者目標> 150名
- <内容> 基調講演、講演、生涯学習音楽指導員活動発表、研究会、生涯音楽学習関係者交流会 等を実施

#### 2. 「国際音楽の日」の普及のための事業、その他音楽を通じた国内外の文化交流事業の実施

「国際音楽の日」の普及と地域の音楽振興のため、音楽団体や公共施設と連携して「国際音楽の日記念コンサート」等の実施を支援する。

- <実施期間> 2020年9月1日～12月31日
- <開催地> 全国各地の公共ホール、高校・大学ホール、生涯学習センター 等
- <開催目標> 全国14か所
- <内容> 合唱、ミュージカル、吹奏楽、洋楽と邦楽のコラボレーション 等
- <出演者> 公募による地域のこどもから大人 他
- <入場者数> 各コンサート 200名～1,500名

#### 3. 音楽学習に関する指導員の養成プログラムの開発及び実施

##### ① 地域音楽コーディネーター養成講座

地域において音楽による文化振興を推進するために、音楽家、地域住民、諸機関等関係者間の連携を図

人材を育成する講座を実施する。受講修了後「地域音楽コーディネーター」の資格を認定する。対象者は地域において音楽による社会活動に携わっている方、今後音楽による社会文化活動を始めたい方等。

<内容>

「生涯学習と音楽」

生涯にわたって音楽を学び続ける意味、地域コーディネーターに求められる役割

「文化と地方創生」

地域の文化政策と文化芸術活動による地域創生の可能性と課題

「地域文化マネジメント」

地域コミュニティ音楽文化活動の現状と課題

「音楽企画書の書き方」

わかりやすい企画書、申請書、報告書の書き方

<日程と会場>

【東京】	2020年	5月23日(土)	ヤマハ音楽振興会ビル (2019年度埼玉振替)
【東京】	2020年	7月11日(土)	ヤマハ音楽振興会ビル
【大阪】	2020年	8月29日(土)	ヤマハなんばセンター「アルモニー」
【北海道】	2020年	9月26日(土)	札幌大谷大学
【東京】	2020年	11月7日(土)	国立音楽大学 (国立音楽大学学生限定)
【名古屋】	2020年	12月5日(日)	ヤマハ東山センター 「ふおるて」
【東京】	2021年	1月30日(土)	ヤマハ音楽振興会ビル
【埼玉】	2021年	3月6日(土)	戸田市文化会館

<受講者目標数>

計400名 (各50名 X 8会場)

②地域音楽コーディネーター探究講座

<内容>

「実践にあたっての知識」

業界で活躍している著名なプロデューサーや音楽の専門家が、貴重な体験談、人々を魅了する企画立案、周りの人々の巻き込み方等を教示。

「実践紹介」

各地で活躍している地域音楽コーディネーターが実際の体験に基づく成功、失敗事例などすぐにも役立つ秘訣を伝授。

#### <日程と会場>

【東京】	2020年 7月12日(日)	ヤマハ音楽振興会ビル
【大阪】	2020年 8月30日(日)	ヤマハなんばセンター「アルモニー」
【東京】	2021年 1月31日(日)	ヤマハ音楽振興会ビル

#### <受講者目標数>

計150名 各50名 X 3会場

#### 4. 音楽に関する学習成果の評価システムの開発及び実施

子どもから成人までの一般音楽愛好者、学習者、指導者を対象に、音楽に関する学習成果を音楽の知識、能力に応じて評価する音楽検定を開発、推進してきた。再開に向け昨年度より引き続き洗足学園音楽大学とICTによる音楽検定の可能性について共同研究する。

#### 5. 音楽に関する調査研究並びに情報の収集及び提供

- ① 文化庁が行う「地域文化倶楽部」に関する調査研究に参画し、学校文化部活動への地域による支援方法、運営体制、また、学校派遣指導員の育成、指導法、認定基準等の開発のため、調査研究並びに情報収集を行う。また、当財団の公式サイト(<http://www.onbunso.or.jp>)上で定期的に情報提供を行う。
- ② 日本伝統音楽の普及と邦楽器の魅力訴求のための施策として、洋楽器と邦楽器のコラボレーションによるアンサンブル曲を作成する。生涯学習音楽指導員他、現場の演奏家によるトライアルを実施し今後の推進方法等を研究する。

#### 【その他の事業】

##### 1. 音楽に関する出版物の編集及び発行

当財団の公式サイト(<http://www.onbunso.or.jp>)上で生涯音楽学習に関する特集テーマと研究論文を中心に、各地域での音楽文化への取り組みや、音楽学習活動研究を年4回発信する。また創刊から78号までのバックナンバーについても公式サイトで掲示し、常時申込みにより販売する。

- ・VOL.12 (4月) スポーツと音楽
- ・VOL.13 (7月) 心と音楽
- ・VOL.14 (10月) プロとアマチュアとの境界線
- ・VOL.15 (1月) 音楽による社会貢献
- ・連載継続(全10回)VOL.8～17「音楽とキャリア 人生100年時代にむけて」